

Mizuho Bangkok Daily Market Report

Dated of 2025/06/11

Forex

	Close	CHANGE
USD/THB	32.63	-0.05
JPY/THB	0.2252	-0.0008
USD/JPY	144.87	0.30
EUR/THB	37.28	-0.02
EUR/USD	1.1425	0.0003
USD/CNH	7.189	0.006
SGD/THB	25.36	-0.04
AUD/THB	21.28	-0.01
USD/INR	85.62	-0.01
USD Index	99.10	0.16

Bond

	Close	CHANGE
5Y (THB)	1.535	-0.002
10Y (THB)	1.685	-0.005
5Y (USD)	4.086	0.004
10Y (USD)	4.470	-0.004

Commodity

	Close	CHANGE
GOLD	3,320.9	-11.2
WTI (Oil)	64.98	-0.31
Copper	9,756.5	-36.5

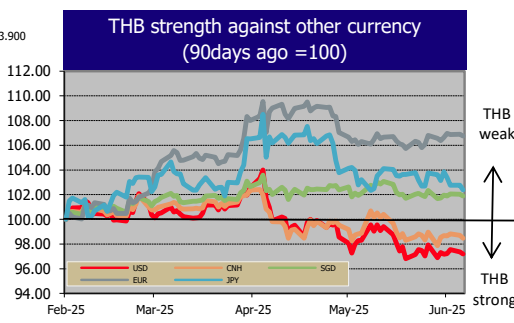
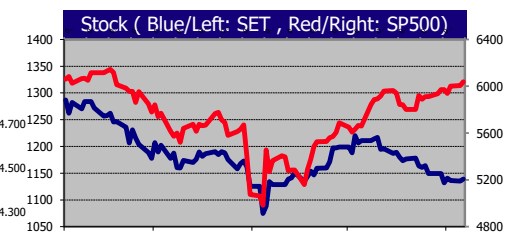
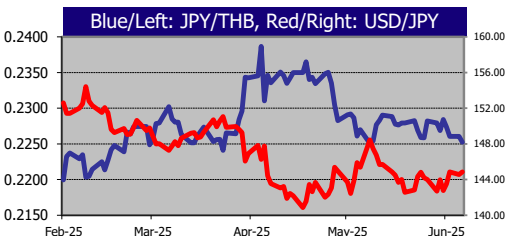
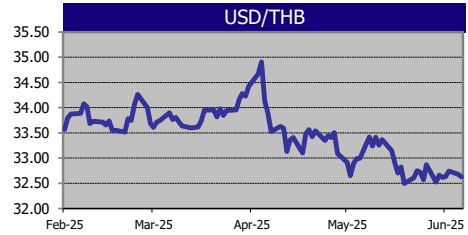
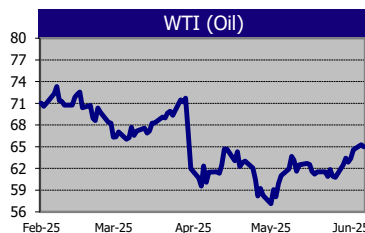
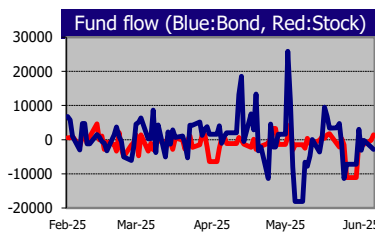
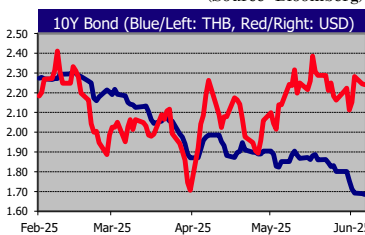
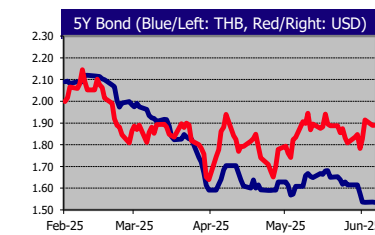
Stock

	Close	CHANGE
SET (TH)	1,139.16	3.92
NIKKEI (JP)	38,211.51	122.94
DOW (US)	42,866.87	105.11
S&P500 (US)	6,038.81	32.93
SHCOMP (CN)	3,384.82	-14.96
DAX(GER)	23,987.56	-186.76

Fund Flow (Overseas Investors)

	Close	CHANGE
Stock net flow	1,433	1635.9
Bond net flow	(2,828)	-695.0

*compared with previous day
(Source: Bloomberg)



Yesterday's market summary

●ドルパーツ

昨日のドルパーツは小幅に下落。32/パーツ半ば付近で取引を開始すると、米中間僚級貿易交渉の動向に注目が集まる中、多くのアジア通貨は対ドルで小幅に下落。ドルパーツも一時32/パーツ台後半付近まで上昇した。ただ、動きは早々に一服し、その後は上値の重い推移となり、結局32/パーツ半ばに戻す展開に。海外時間は翌日の米CPI発表待ちの雰囲気漂う中、大きな動きは見られず、そのまま32.63レベルでクローズを迎えた。

●ドル円その他

昨日のドル円は小幅に上昇。144円台半ばの水準で取引を開始すると、参院財政金融委員会にて植田日銀総裁から「基調的な物価上昇率はまだ2%に少し距離がある」との発言が確認され、一時145円台前半まで上昇する場面が見られた。ただ同水準では伸び悩み、日経平均株価の軟調な推移を横目に144円台後半まで戻す展開に。海外時間に入ると、米金利の上昇等を背景にドル円もじりじりと上昇。終盤にかけて145円ちょうど付近を付けると、144.87レベルで引けた。

Bangkok Dealer's Eye

今週は材料難のなかドル円やドルパーツは方向感のない推移が続いているが、日米の株式市場は足元底堅い展開が続いており、各アセットクラスの相場はどちらかというとリスクオンの地合い・様相となっている。米中両政府が今週に入り2回目となる閣僚級会合を開いていたことが材料視され、楽観的な見方の広がりが株式市場にとってプラスに作用したようだ。つい先ほどのヘッドラインで、両国は先月スイスで合意した内容を実行に移すことで合意したと報じられた。ただし、中国側のコメントを見ると、今回の提案を持ち帰るとされており、詳細はまだ明らかになっていない。今後具体的な内容が報じられるにつれ、リスクオン地合いが一層強まる可能性に留意したい。今週は、本日アジア時間夜に米5月消費者物価指数の発表を控えている以外は目立った材料がなく、来週の米FOMCを前にFRB高官もブラックアウト期間に入っており発言機会なし。逆に来週は日本、スイス、英国、米国で金融政策の発表があるほか、米5月小売売上高も発表されるなどイベントが目白押し。目下は米中間の通商協議に関する詳細の発表に注意しつつ、週末に予定される日米間の6回目閣僚級交渉、さらにはタイも近々米国と閣僚級会合が開始されるとの報道があるため、その展開にも注目したい。(吉田)

The report is prepared for the sole purpose of information only. It is not an invitation to trade. The writer's view expressed herein would not be substituted for the exercise of rational judgement by the recipients.